



# 永久平和を願って 次世代に戦争体験を語り継ぎたい

私の戦争体験談 14

秘書広報課 ☎24-8801

昭和18年10月、旧制丸亀中学3年生の2学期、私は松山市予科練に入隊しました。そして済州島(朝鮮半島の南にある島)で飛行練習生となつて、飛行機乗りになりました。その後、釜山(韓国南部の都市)の航空隊に配属されま



転隊のため釜山飛行場出発の風景(1)

した。

その頃の日本軍は、前の年にミッドウェー海戦で大敗し、多くの空母や飛行機、パイロットを失いました。また、山本五十六連合艦隊司令長官が、ブーゲンビル島上空で戦死。南方に展開していた日本軍が、各地で玉砕するなど、戦況は悪化の一途をたどっていました。

そんな頃の航空隊には、戦闘機は無く、私が預かった機は、複葉の93式中間練習機、いわゆる「赤とんぼ」の愛称で知られるかわいらしい機でした。

私に特攻の命が下つたのは、昭和20年4月8日、終戦の4か月前でした。

一口に特別攻撃隊(以下特攻)といつても色々あります。特殊潜航艇いわゆる人間魚雷や、飛行機



## 特攻機は練習機

### 「赤とんぼ」

#### いざ出撃の前日に終戦

城東町 田中 卓さん

の腹に取り付けて、上空で切り離し滑空して体当たりするものなど……。いずれにしても燃料片道の決死の捨て身の攻撃です。多くの若者が、日本の平和と繁栄を願って散っていきました。

釜山航空隊の隊員たちは、特攻の訓練をするため、もう2度と会えない今生の別れをして、九州の各基地に分かれて飛び立って行きました。

私の分隊は、鹿児島の出水の基地です。国内の移動とはいえ、制空権はほぼアメリカ軍にあったの

で、やはり他の部隊では、九州の上空で打ち落とされた特攻機もあつたようです。

出水基地上空に近づくと、兵舎や滑走路は、ほとんど破壊され、穴だらけの飛行場に何とか着陸できました。兵士の多くは、山の中の洞窟に潜み、特攻の出撃に備えていました。総勢4000人、うち飛行機乗り130人。すべて特

攻隊員です。

その頃、日本の偵察機が、沖縄周辺海域の写真撮影に成功し、私もその写真を見る機会を得ました。それは、黒い画用紙に白ゴマをばら撒いたような感じでした。「ゴマ粒一つ一つは、アメリカ軍の船だ」と聞かされ驚きました。当時5000隻の敵艦船が九州近海にいたようです。「より取り見取り、好きな船見つけて突っ込んでくれ」と冗談。

私の分隊は、8月16日に、さらに南の基地沖縄本島の北東にある喜界島に移動して特攻を決行する予定でした。

8月15日、玉音放送があるとのことで、大きな部屋にみんな集まって聞きました。

「日本は負けなんだ」

読者の多くは、隊員たちは敗戦の悲しみと同時に、「助かった」と胸を撫で下ろしただろうと思われていると思います。しかし、隊員たちにはそういう気持ちはありません。ただ淡々と、現実を受け止めていました。

特攻命令を受けてから、否、予



転隊のため釜山飛行場出発の風景(2)

科練に入った時から、「死ぬ」のは覚悟していました。ただ不安だったのは、「上陸してくるアメリカ兵にいかに対応するか」が兵隊たちの当面の課題でした。「全員右手をもぎ取られるぞ」などのデマ情報も飛んでいました。そこで各自私物を大きな袋に入れて、山に逃げ込んで様子うかがっていました。

今年満89歳の私、戦後70年以上が経過して、私のような経験をした人も数少なくなりました。実は私は、戦後、このようなお話は一切誰にもしていませんでした。昭和47年に、全国の特攻隊員の戦友会が、熱海で行われました。80人ほどの元隊員が集まり、



戦友たちと談笑したところから、平和の大切さを、次の世代に伝えるため、お話をするのも私たちの大きな任務と思い、お話をさせていただきます。ありがとうございます。

今回は、私が所属する奉仕団体の同僚会員Yさんの紹介で、市の

## 平和のために語り継ぐ 「戦争体験談」 などを募集しています。

秘書広報課 ☎24-8801



秘書広報課では、戦後70年の節目の年にあわせて2年ほど前から、戦争を2度と繰り返さないために、「戦争体験談」を募集しています。

戦争体験や戦争中の生活の様子を伝える貴重なお話をお寄せください。また、写真などの資料もお待ちしております。ご高齢の場合、広報担当が聞き取りもさせていただきますので、お気軽にお問い合わせください。

### 内容

戦争体験や戦争中の生活を伝える体験談400字～最大2000字(原稿用紙1～5枚)・資料など(使用後返却)

### 応募方法など

住所、氏名、年齢、電話番号を記入して郵送か持参またはEメールで秘書広報課まで。順次広報丸亀などで紹介させていただきます。

### 送付・問い合わせ

〒763-8501 大手町二丁目3番1号  
秘書広報課 ☎24-8801  
hishokoho-k@city.marugame.lg.jp



**用語の説明**  
ミッドウェー海戦 太平洋のハワイ諸島北西にある環礁をめぐって、1942年6月、日本海軍とアメリカ軍が戦い、日本が航空母艦4隻、艦載機多数と多くの優秀な搭乗員を失い大敗、その後の戦局に大きな影響を与えた海戦。

広報担当者に話を聞いていただき、生まれ育った丸亀市の広報紙に掲載していただき光栄です。どうか世界の人々が、できるだけ早く、互いに尊重し合い、助け合って暮らしていける時代を創っていただきたいと思います。 ※写真はすべて筆者提供。 ※筆者は昨年夏、他界されました。ご冥福をお祈りします。(聞き手 広報担当中年明)